

# 一 般 質 問 事 項

(令和8年第2回幸田町議会定例会)

質 問 者	件 名 ・ 要 旨	答 弁 者
1 鈴木 久夫	<p>1 水道事業は厳しい経営が見込まれるが独立採算に更に努力を</p> <p>昭和52年に、全町給水が開始された。町水道の水源は、県水100%受水の経営である。その県営水道使用料が22年ぶりに値上げされ、令和8年には1m<sup>3</sup>当たり32円となり、23%の値上げとなる。近年の水道事業は、使用水量の減少、施設改修など、今後も経営は厳しさを増していくものと考ええる。</p> <p>(1) 水道施設の老朽化は、法定耐用年数を超えた施設も多くあると思うが、状況は。</p> <p>(2) 併せて耐震化計画は。</p> <p>(3) 災害発生後の応急給水対策の体制や資機材の現状は。</p> <p>(4) 最近では事例が少ないが、配水タンクへの異物混入などの犯罪がいつ起こるか分からない。本町のセキュリティ対策は。</p> <p>(5) PFAS有機フッ素化合物が問題視されているが、水質検査は。</p> <p>(6) 水道料金は多くの市町村では料金の値上げを実施したり予定をしている。収益悪化が原因と考えるが、県下の値上げの実態は。</p> <p>(7) 幸田町の料金体系は、使用水量増加に伴い段階的に高額となる逦増制である。従って大口使用者は負担が重い。他の自治体は。</p> <p>(8) 国は市町村ごとに「水道カルテ」を公表したと新聞報道があった。経営改善と耐震化の緊急性を認識するツールとなるが、本町のカルテの状況は。</p> <p>(9) これまでの本町の経営は、長年に渡って収支が健全に経営されたが、今後の値上げをせずにいけるか。</p> <p>(10) 水道事業の広域化推進について。県の主導で水道事業の経営環境の悪化に対処するため、西三河市町の事業一体化を図る試みとして協議を進めていく考えである。この広域化の本町のメリットとデメリットは。</p> <p>(11) 本町の水道広域化推進は、町民の生活面に直結する重要な局面になるので、慎重かつ冷静な判断を期待する。</p>	町長 担当部長
2 岩本 知帆	<p>1 町議選の選挙公報について</p> <p>町議会議員選挙は、町民が町政に参加する最も身近な機会である。候補者情報を公平に比較できる仕組みとして選挙公報の導入や、紙とWeb・LINE・ホームページを連動させた情報発信について、町の考えを伺う。</p>	町長 担当部長

<p>(岩本 知帆)</p>	<p>(1) 町議選の投票率推移の分析と現行の情報提供の課題は、など。</p> <p>(2) 候補者情報を公平に比較できる選挙公報導入の考えは、など。</p> <p>(3) 紙×Web (LINEやHP) 連動の設計は検討しているか、など。</p>	
	<p><b>2 防災情報の多重化について</b></p> <p>地震や風水害など大規模災害が発生した場合でも、町民に必要な情報が届くことが大事である。現在の情報発信ツールと課題を整理し、災害時に確実に情報を届ける体制について町の考えを伺う。</p> <p>(1) 現在の情報発信ツールは何を使用しているか、など。</p> <p>(2) 地震・停電・通信障害同時発生時の情報孤立リスクの想定は、など。</p> <p>(3) 災害時に想定される情報孤立リスクへの対策は、など。</p> <p>(4) 基幹的避難所の太陽光発電・蓄電池・非常用Wi-Fiの現状は、など。</p> <p>(5) 要配慮者への戸別訪問等による情報伝達ルートの訓練は、など。</p> <p>(6) 一次情報の一本化する考えは、など。</p>	<p>町長 担当部長</p>
	<p><b>3 不登校・引きこもり支援について</b></p> <p>不登校やひきこもりなど、支援を必要とする子ども・若者とその保護者に対し、学校・教育・福祉・地域が連携し、切れ目なく伴走する体制が重要である。相談から支援につなぐ流れ、保護者支援、居場所や学びの場・地域活動への段階的な接続、合同支援会議や支援計画の取り組みについて町の考えを伺う。</p> <p>(1) 校内委員会・別室登校・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー連携の現状は、など。</p> <p>(2) 教育・福祉等による横断把握と情報共有体制の整備は、など。</p> <p>(3) 相談先の状況と伴走支援の標準フロー化は、など。</p> <p>(4) 家族会・夜間会・オンライン会等による保護者支援は、など。</p> <p>(5) 居場所や学ぶ場所・地域活動へつなぐ段階ルートは、など。</p> <p>(6) 合同支援会議や支援計画などの取り組みは、など。</p>	<p>町長 教育長 担当部長</p>
<p><b>3 野坂 純子</b></p>	<p><b>1 福祉避難所について</b></p> <p>(1) 高齢者や障がいのある方などが安心して過ごせる避難環境について、どのように考えているのか。</p> <p>(2) 福祉避難所は町内にいくつあり、何人くらい受け入れることができるのか。</p>	<p>町長 担当部長</p>

<p>(野坂 純子)</p>	<p>(3) 福祉施設との協力体制はどのようになっており、災害時にどのように開設・運営されるのか。</p> <p>(4) 福祉避難所はどのような流れで利用できるのか。また、その内容など住民への周知は。</p> <p>(5) 介護職員などの専門スタッフは、災害時にどのように確保されるのか。</p> <p>(6) 妊産婦や乳幼児に特化した「母子専用避難所」の整備の考えは。</p>	
	<p><b>2 不登校の子どもへの支援について</b></p> <p>(1) 取り組み、現状について。</p> <p>① 教育相談室「スペースピッコロ」の利用人数や内容、成果は。</p> <p>② 支援につながっていない子どもはどのくらいいて、どう対応しているのか。</p> <p>(2) 学びの保障について。</p> <p>① 学校に行けない子どもでも学べるように、タブレットなどのオンライン学習はどのくらい行われているのか。使えない場合の別の学びの方法は。</p> <p>(3) 学びや居場所の選択肢について。</p> <p>① 今の支援だけで十分か。フリースクールなど、学校以外の学びの場の考えは。</p> <p>(4) 給食費無償化に伴う、すべての子どもに配慮した制度のあり方について。</p> <p>① 不登校や、アレルギーで給食を食べられない子どもへの配慮や補助はあるか。</p> <p>② 尾張旭市では、不登校の子どもを対象に、給食センターで給食を提供する「あさびー食堂」を試行的に開始しているが、そのような取り組みを参考にする考えは。</p>	<p>町長 教育長 担当部長</p>
<p><b>4 藤本 和美</b></p>	<p><b>1 税金や料金の収納について</b></p> <p>負担が重くなる国民健康保険税をはじめ、税金や保険料等の収納対応や支援について伺う。</p> <p>(1) 税金は税務課が滞納者への対応をしているが、料金は各課で対応している。一元管理ができれば効率的・効果的に対応や支援ができるのでは。</p> <p>① 各課での収納対応の人員は。</p> <p>② 各課で滞納者の情報を共有して対応や支援ができているか。</p> <p>③ 全庁的に収納を管理する専門の課をつくっては。</p>	<p>町長 担当部長</p>

<p>(藤本 和美)</p>	<p>(2) 国民健康保険税が上がることによる滞納対策は。</p> <p>(3) 2027年6月以降、外国人の国民健康保険料(税)などの滞納は、在留資格の更新・変更に影響とのこと。</p> <p>① 現在の外国人の国民健康保険税滞納者・滞納率は。</p> <p>② 督促状の外国語表記や、具体的な対応は。</p> <p>(4) 土地区画整理事業地区内の固定資産税の税負担を軽減する措置について。</p> <p>① 導入している県内の自治体は。導入する考えは。</p> <p>② 固定資産税の納税通知書の様式が変わり、字が小さく読めなくなった。改善は。</p>	
<p>5 田境 毅</p>	<p>1 実効性のある防災体制の構築について</p> <p>防災意識としての「安心」と実際の「備え」には乖離が見られ、在宅避難者の把握や地域避難所の環境整備、初動体制など運用面の強化が課題である。</p> <p>JIAM防災研修での知見も踏まえ、計画から実行へとつなげる防災施策について、現状と今後の方向性を問う。</p> <p>(1) 住宅の耐震化状況および地域ごとの差異の把握について。</p> <p>① 在宅避難を前提とした防災の基盤となる住宅耐震化の現状把握と地域差の現状は。</p> <p>(2) 住民の防災意識と備えの乖離への対応について。</p> <p>① 防災意識は高い一方で備えが不十分な状況に対し、自助行動につなげる取り組みの方向性は。</p> <p>(3) 在宅避難者の把握と支援体制について。</p> <p>① 在宅避難者の見える化および把握手法は。</p> <p>② 把握後の支援体制(地域・行政の役割分担)を明確にする考えは。</p> <p>(4) 基幹的避難所と地域避難所(公民館等)の役割整理について。</p> <p>① 基幹的避難所の整備状況を踏まえ、地域避難所との役割分担を整理する考えは。</p> <p>② 住民が最初に避難する地域避難所の重要性を明確に位置付ける考えは。</p> <p>(5) 地域避難所(公民館等)の環境整備について。</p> <p>① 基幹的避難所との差を踏まえた改善の方向性は。</p> <p>② 最低限確保すべき生活環境の考え方を示す考えは。</p> <p>(6) 地域防災拠点としての情報インフラ整備について。</p>	<p>町長 教育長 担当部長</p>

<p>(田境 毅)</p>	<p>① 既存のMCA無線による連絡体制を前提にした情報インフラ整備の考えは。</p> <p>② Wi-Fi等による情報取得環境の整備について方向性を示す考えは。</p> <p>(7) 地域防災拠点の電源確保について。</p> <p>① 停電時に機能する拠点づくりとして電源確保の考えは。</p> <p>② 再生可能エネルギーおよび蓄電池の活用について検討の方向性を示す考えは。</p> <p>(8) 庁舎1階レイアウト改修における防災機能の位置付けについて。</p> <p>① 対策本部、情報集約、住民対応はどのように考えているか。</p> <p>② 災害時を想定した機能強化の考えは。</p> <p>(9) 初動体制の現状と今後の方向性について。</p> <p>① 消防団・地域組織・行政の役割は。</p> <p>② 発災直後の対応体制の考えは。</p> <p>(10) 中学生を含めた担い手育成について。</p> <p>① 避難所運営等への関与は。</p> <p>② 今後の地域防災を支える人材育成の方向性は。</p> <p>(11) 要配慮者支援の実効性向上について。</p> <p>① 個別避難計画の運用面の強化について考えは。</p> <p>② 実際に機能する体制づくりの考えは。</p>	
<p>6 丸山千代子</p>	<p><b>1 町民プールの老朽化対策について</b></p> <p>開館から28年が経過し、施設の老朽化が進み、不具合が生じているとして、令和8年度をもって、町民プールの営業をいったん休止し、今後の施設の在り方について検討すると報告された。対策について問う。</p> <p>(1) 令和8年度の営業はいつまでか。</p> <p>(2) 令和9年度の調査と改修工事計画について。</p> <p>(3) 施設の在り方と町民プールの方向性について。</p>	<p>町長 担当部長</p>
	<p><b>2 学校体育施設のスポーツ開放について</b></p> <p>学校体育施設のスポーツ開放の予約が、若い世代の新規団体では、参入ができない状況がある。 スポーツ開放の現状と課題を問う。</p>	<p>町長 教育長 担当部長</p>

(丸山千代子)	<p>(1) スポーツ開放している施設数と利用団体数について。</p> <p>(2) なぜ新規参入ができないのか。</p> <p>(3) 若者のスポーツに対する夢や権利を保障する場を奪うべきではない。解決方法について。</p>	
	<p><b>3 社会福祉協議会の体制充実について</b></p> <p>社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づき地域住民や福祉関係者が参加して、「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進める、公共性、公益性の高い民間の社会福祉法人である。全国すべての市町村に設置され、相談支援やボランティア活動などを通じて、地域福祉の中核的役割を担うものと位置づけられていることから、拠点づくりの体制を問う。</p>	町長 担当部長
7 稲吉 照夫	<p><b>1 避難所運営に関するマニュアル作成を</b></p> <p>ファーストミッションボックスが令和7年度各避難所に配置され、避難所開設が地域住民により可能になると思われる。それに伴い、避難所運営について準備が必要と考え、以下を問う。</p> <p>(1) ファーストミッションボックスを活用した防災訓練の計画は。</p> <p>(2) ファーストミッションボックスを町ホームページに載せ、町民の皆さんに周知できるようにしては。</p> <p>(3) 避難所運営となると女性の参加、働きが重要と考えるが、どのように取り入れていくか。</p> <p>(4) こうた女性の会では防災訓練をしていると聞かすが、各地区での防災訓練に参加することはできないか。</p> <p>(5) 地域企業との防災協定をいろいろ結んでいるが、避難所運営に関する内容のものはあるか。</p> <p>(6) 避難所運営は住民自ら運営する意識を持っていただくことが重要と考えるが、訓練はどのように行うか、など。</p>	町長 教育長 担当部長
8 都築 幸夫	<p><b>1 県道岡崎幸田線の歩道整備について</b></p> <p>県道岡崎幸田線の歩道整備事業について、進捗状況と今後の展開について問う。</p> <p>(1) 現在の工事区間にあるJAあいち三河幸田支店前の歩道未整備2ヶ所について、歩道整備進捗状況は。</p> <p>(2) 歩道未整備2ヶ所の整備に併せ、JAあいち三河幸田支店前にある小中学生の通学路となっている横断歩道に、押しボタン式信号機の設置を行うのが適切な時期と考えるが、現在の取り組み状況は。</p> <p>(3) 現在の工事区間に連続する、次の未整備区間の歩道整備予定は。</p> <p>(4) 今後の歩道整備に向けた取り組みについて、町はどのように考えているのか。</p>	町長 担当部長

(都築 幸夫)	(5) 利用者が安全安心して利用できるような歩道整備の促進を。	
	<p data-bbox="375 230 858 264"><b>2 町内の排水機場の管理について</b></p> <p data-bbox="411 297 1302 365">幸田町の河川沿いに設置されている、町内6ヶ所ある排水機場の管理体制について質問する。</p> <p data-bbox="411 394 1286 461">(1) 排水機場の運転体制について、町は現状をどのように把握しているのか。</p> <p data-bbox="411 490 1302 557">(2) 農業従事者の減少と高齢化により、今後の運転体制が維持できなくなるリスクについて、町はどのように認識しているか。</p> <p data-bbox="411 586 1302 822">(3) かつては排水機場の受益は農地だけだったのが、その一部の農地が住宅地や工業団地になり、都市部の受益の比重が大きくなってきた。          そういった排水機場を、高齢の農家の方ばかりに任せてよいのか。          農地と都市部のバランスをとり、全体としての治水行政として、責任を取るべきではないか。</p> <p data-bbox="411 851 1286 884">(4) 本町での排水機場管理の自動化・遠隔化の計画はあるのか。</p> <p data-bbox="411 913 1302 981">(5) 町として、排水機場の持続可能な管理体制を、どのように構築していく考えか。</p>	町長 担当部長